看護の過程　～看護上の問題とその解決の過程～

ワークシート１

　　　　　　　　　３年　〇組（　　　　）氏名

1. 患者の基本データ

患者設定　Ａ子　70代　女性

５年前より２型糖尿病を指摘され、経口薬で血糖コントロールを行っていたが、血糖コントロール不良のため、今回精密検査とインスリン療法導入のため入院となる。

・空腹時血糖値180ｍｇ/ｄL代（基準値70～109ｍｇ/L）

・75ｇ経口糖負荷試験　２時間値　400ｍｇ/ｄL

＊糖尿病患者では血糖の正常化が遅れる傾向にある。(基準値は140ｍｇ/ｄL未満)

・HbA1c　9.5％　(基準値は4.6～6.2％)

＊糖尿病患者の１～2か月前の血糖コントロール状態（平均血糖値）がわかる。

今後の治療方針：近日中に退院予定。退院後は、本人による血糖測定とインスリン注射の継続が必要となる。

1. 電子カルテの情報（〇/〇　午前中に看護師が自己血糖測定を実施した際のSOAP記録）

|  |  |
| --- | --- |
| 入院日 | 20〇〇/〇月〇日　　　　　患者氏名Ａ子　（70代）　身長151.0cm　体重57.0Kg |
| 年月日 | 時間 | 看護記録 |
| 20〇〇〇/〇 | 10 | 本日、自己血糖測定方法についてナースが実演し説明した。S:「はい、わかりました」O:血糖測定の説明に対して、うなずきながら話を聞いている。A:初回説明時の受け入れは良好。血糖測定の導入は可能と判断できる。P:明日から看護師立会いのもと、自己血糖測定を開始し退院までに手技を確認する。 |

1. 動画のあらすじ

実習生が病室を訪れると、患者から娘の手紙を読んで欲しいと頼まれる。患者は高齢であり、文字を読むことや署名に困難さを見せる。先日、看護師立会いのもと、自己血糖測定を開始し退院までの手技を確認したが、その日のことは覚えておらず，「毎日の注射は嫌」と治療法に不満を訴える。家族の支援も困難な状況にあり、疾患や処置に関連する知識と技術を習得するための支援が必要な状況にある。

1. 考えよう１！

上記３の患者と実習生との会話場面を視聴し、患者にとって治療が退院後の生活にどのような影響を与えているかについて考え、患者がもつ健康課題についてロイロノートのシンキングツールを使ってまとめなさい。

【ピラミッドチャート(下から上)】を選択した場合の例】

1. 話し合おう２！

患者の自己管理を阻害している要因を基に、患者が療養上必要な自己管理が遂行できるための方法(解決策)についてまとめよう。

|  |  |
| --- | --- |
| 自己管理を阻害している要因 | 解決策 |
|  |  |

　【ロイロノートのまとめ方の例】

【考えよう１！情報から得た分析（まとめ）】

模範例

|  |  |
| --- | --- |
| 患者と実習生との会話場面(情報) | まとめ |
| 患者）娘が手紙を置いていったんだけど、読める？　　　眼鏡を家に置いてきちゃったから。生徒）変わりに読みますね。町内会の書類に署名をしておいてくださいとメモに書かれています。～患者は、書類にサインをした。～患者）オーバーテーブルにある箱を指差し、「これ、看護師さんの忘れ物かしら？そういえば**。**帰ってからも注射をしなければいけないと言っていたけど、その注射なの？」生徒）いいえ、注射ではなく、血糖を測る機械です。患者）なかなか新しいことが覚えられなくてね。これでも、野菜は沢山摂るようにしたり、食べすぎないようにしたり、いろいろ頑張っていたんだけど。全然良くならないの。毎日の注射って嫌なものよ。生徒）毎日は、大変ですよね。娘さんに、お手伝いしてもらえないのですか。患者）娘は仕事もしているし、子どももいるから忙しいの。面会は、来なくていいと断っているの。迷惑になっちゃうでしょ。 | ①眼鏡なしでは、小さな文字が読めない視力である。②書類に署名する際、手は振るえていた。このことから、細かい作業が困難なことが予測される。③昨日の看護記録では、血糖測定の理解度を良好と判断しているが、患者の様子から説明が伝わっていない。④患者には糖尿病の治療について、成果がでなかったという思いがあるようだ。新たな治療に向けて意欲がわかない状況にある。⑤患者が血糖測定などにネガティブな気持ちを抱いていることが分かる。⑥娘に自分の病気のために迷惑をかけたくないといった思いを感じている。 |

必要な看護介入：「疾患や処置に関連する知識と技術を習得するための支援が必要な状況にある」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【話し合おう２！分析を基に解決策のまとめ】

|  |  |
| --- | --- |
| 自己管理を阻害している要因 | 解決策 |
| ①に対し②に対し③に対し④に対し⑤に対し⑥に対し | * 患者に渡す説明書の文字の大きさなどに配慮する。
* 眼鏡の持参を家族へ依頼する。
* インスリン単位表示が見えるか査定する。
* 細かい作業はどこまで可能か観察し、針の取り扱いに危険がないか判断する。
* 患者教育を進めるにあたり、理解度を確認しながら説明をすすめる。
* パンフレットやメモを活用するなど、忘れることを補う工夫をする。
* 糖尿病予防に努めてきたが、成果が得られないことから自己肯定感が低い。そのため、患者の気持ちに共感することや今までの努力を承認する。
* 治療に取り組んでみようと思えるように、その患者にあったメリットを提示し、行動を獲得する価値を高める。
* 患者の話を傾聴し、ネガティブな気持ちを抱く要因を探る。
* 手技に慣れる機会を多く作る。
* 不測の事態の対処法を練習する。
* 患者の思いを尊重しつつ、家族にサポートを依頼する。
 |